

	<b>HSK</b> ながつき <b>長月号</b> NO.130 2011.9.10号 <b>Advocate</b>	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号474号 発行/2011年9月10日(毎月10日発行) 編集者/我妻 武 住所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 H P <a href="http://npolife.net/">http://npolife.net/</a> 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円

# NPOライフ 共同連東京大会参加報告

## 「内容充実の共同連大会」

きばりや所長 岡田 悟

毎年この時期になると行われる共同連全国大会。今年は8月20日・21日の2日間の日程で東京の代々木オリンピックセンターにて行われました。

20日は各分科会に分かれ、それぞれの分野における報告やミーティングが行われました。もちろんその中には毎年恒例となっている『社会的事業所に向けての起業』や『社会的に排除せられる人のネットワークづくり』など私たちにとって大変ためになる内容が盛りだくさんでした。また、21日は当初より大きなテーマとして考えられてきた『社会的事業所法制化』に加え、3月11日に起きた東日本大震災の障害者市民支援活動の実態と今後の課題に関して報告がありました。

私事ですが共同連全国大会へは今回で5度目の参加となります。毎年この大会は会場の盛り上がりはもちろん会場の外も賑やかなものですが、震災の自粛ムードがここにも飛び火したのかと思うくらい今年は比較的静かな大会だったのではないかと思います。

しかし、おとなしくしているだけでは何も始まらない。今こそ社会的弱者と呼ばれている人々も取り込む大きな力で、今後の震災にも耐えうる事業を立ち上げる必要性和重要性を感じる大会でした。



### 共同連東京大会に参加して

たねや所長 島 明子

昨年の宮城大会に続き、東京大会も参加しました。新たなメンバーと共に参加したので、普段関わることのないライフの仲間と約3日間行動を一緒にでき、ドタバタな毎日でしたがとても楽しかったです。



今回、初日に行われた分科会では「社

会的観光」に参加しました。かなりの人数が参加していたこととスケジュールや時間等の都合があり、2チームに分かれての移動となりました。

私たちライフメンバーは「企業組合あうん」へ見学しに行くことになり、「わっぱの会」のバスと一緒に乗せてもらい現地に向かいました。

企業組合あうんでは、リサイクルショップあうん(衣料・電化ショップ)と便利屋あうんの二つに分けられています。

リサイクルショップあうんでは、全国から寄付してもらった商品や、地域の方から寄付してもらったもの、そして便利屋あうんの片づけ仕事で引き取ったものをリサイクル品として低価格で販

売していることもあり、衣類品に関しては何と仕入れゼロ円!! 電化製品もかなり安い値段で販売しており、新しい生活を始める人(生活保護を利用して家具什器費内での用意を検討してる人)にとって優しい安価です。

もう一つは便利屋あうんという、片づけ・引っ越し・清掃を中心とした事業です。

地域のお客様を中心に依頼を受け、若者を中心にホームレス支援から始まった事業ということもあり、野宿者・失業者などが草の根的なネットワークを通じて「使い捨て」ではない労働、生きがいと誇りのある働き方の実現という理念を持ち、店舗の皆さんが生き生きと働いている姿が印象的でした。

障害者手帳を持っていない人ばかりで、全ての従業員が日給賃金でしかも同額とのことでした。

対等な関係に立った仕事づくりのヒントがあうんにあるように思い、もっと詳しい話を聞きたいと思いました。

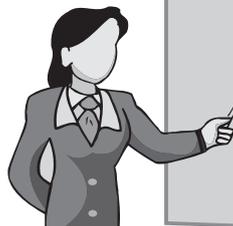
## 『共に学ぶ』から『共に生き』『共に働く』 たねや 小山 譲

僕は8月20日に冒頭のタイトルの研修を受けました。多々研修の種類はありましたが、この研修を選んだ理由はライフの理念に似てるなど思ったからです。似たような理念でも意見、捉え方が共同連大会に集まった人それぞれ違うだろうなと思いました。それを聞いて今、持っている考え方の幅を広げられれば良いと思いました。

会場に入った感想は、大学の講義でも始まるのか?って感じでした。難しい課題のようなも挙げ、それを考えていくのかと思っていましたが予想に反してわかりやすいものでした。簡単に説明すると、知的障がい者が普通の小学校、高校に入りたい…でも、その際に受けた待遇と現状といった所でしょうか?伝われば幸いです。

さて平たく言えば知的障がい者を息子または娘に持つ親の体験談を聞くわけですが、親という名の講師の方々に話を聞いてると単なる苦労話という印象が強いです。それは自分の息子(娘)が受けた待遇ですから理不尽だ!と訴えるのはわかります。障害が違うといえ、自分も当事者な訳です。そこで今度は自分以外の研修を聞きに来た人達を見回してみました。すると、聞く側の人達も同じ境遇で過去に同じ経験をした人達でした。

言ってしまうえば、何らかの障害を持つ



ていれば通る道だと思うので、全体的にはつまらなかったな—というのが僕の感想ですが、講師の中に一人、特殊学級の教師をしていた方がいたのですが、その方の話しは面白かったです。

## 共同連

きばりや 浜中 孝仁

ぼくたち8人ははじめることのあいさつのできたことは、社会的事業所に向けて企業が一緒にスライドでいろいろなべんきょうをしました。

岡田悟さん一緒にじかんのスライドをべつべつに分化会にでました。交流会でKARAのダンスをおどったり、みんなといろいろなごはんを食べてうれしくやった。共同連全国大会ホールでいすにすわってマイクではなしをきくことにしました。



## 楽しかった共同連

ひだまり 新井田 琴江

東京は楽しかったです。スカイツリーをみたのが楽しかったです。

## 共同連東京大会にて

ひだまり 松橋 勇祐

8月19日(金)~21日(日)に共同連大会で東京に行ってきました。天候はくもりや雨とすっきりしませんでした。

社会的観光では車窓から東京タワーや東京スカイツリーが見えました。交流会は食事しながらパフォーマンスを楽しみました。共同連大会は初めてでしたがいい経験になりました。

### 共同連とは～

障害のある人に対する差別とたたかい、障害のあるなしに関わらず、共に働く事業所を展開することにより真の共生社会づくりをめざし1984年結成された。

### 共同連大会とは～

共同連の趣旨に賛同した人たちが全国から集まり、活動の発表や勉強会、コミュニケーションなどを目的とした、年に一度、全国各地で開かれる大会。

## アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



### 障害者の結婚と子育てとは～

山野 昌義

以前、TVを見ていて気になった内容について書きたみたいと思います。

イギリスで暮らすあるカップルが婚約し出産を控えていました。そんな幸せそうな二人が結婚を二日後に控えていた時に事件が起りました。突然、二人の前にスコットランド、ファイフ市のソーシャルワーカーが現れ「二人の結婚は許可できません」と言う。イギリスには、政府や市などにソーシャルワーカーと呼ばれる社会福祉士が配置されており、知的障害者やお年寄りなどに対して日常生活のケアやアドバイスを行ったり、飲酒や薬物中毒、家庭内暴力などの問題のある家庭を訪ね、子供が安全に暮らせないと判断した場合、養子縁組の手配をしたりするなどの様々な役割を担っている。何故そんなソーシャルワーカーが来たのかというと、このカップルの女性は学習障害を持っていたのだ。イギリスでは国や市が障害の重さを判断し、結婚を阻止出来ると法で定められている。さらに生まれた子供に精神的、身体的に悪影響を与える可能性がある、出産後の子供を引き取ると決められてしまいました。

これ以上この国にいても不幸になると思った二人は逃げるようにスコットランドを出てアイルランドで生活をする事にしました。しかし、ソーシャルワーカーは、彼女が出産のための定期検診を受けている記録から二人の居場所を突き止め、生まれた赤ちゃんを保護しに追いかけて来ました。

結局、二人は政府の力に逆らう事が出来ず大切な赤ちゃんを奪われてしまいます。カップルは藁にもすがる思いで以前、電話をくれたイギリス自由民主党下院議員に相談します。すると、正式な手続きをすれば面会も出来、頑張れば子供を取り返せる事が判明します。以降、二人は何度も市役所を訪れ、子どもの親として問題の無い事を認めてもらうため、精神科医のテストを受けました。これは人と話す事が得意でないケリーにとってはとても大変な努力が必要でした。そして努力の結果、ケリーは子育てすることに問題が無い事が認められ、現在、3人は努

力で勝ち取った幸せな生活を送っています。子供を守る大切な役割があるこのイギリスのソーシャルワーカーですが、反面でこの様な事例が起こる事があるようです。

この話を聞いた時「障害者が結婚や子育てするという事がまだまだ当り前の事として受け止められていないのだなあ」と感じました。健常者同士の結婚ですら色々な不安があると聞きますが、障害者同士となると尚更と言う事でしょうか。

今の日本で考えれば、国や市の人たちが結婚や出産に対し、ある程度の権限を持って介入してくる事は考えられません。(過去には優生保護法という法律があったようですが) 障害の重さによっては、生まれた子供に精神的、身体的に悪影響を与える可能性があるというならば、私たちの様な車いす使用者の夫婦はどうなのでしょう。立って歩けないという事は、抱っこして歩いて欲しいという子供の気持ちを我慢させる事になるし、直ぐに子供の事を追いかける事が出来なければ、子供の行動範囲にある程度の制約を付ける必要があります。「そんなの健常者の親だって同じ」と思う人もいるかもしれませんが、子供を育てていくためには健常者よりも多くの人の手を借りる必要性があったり、子供を我慢させたりする事が多い場合、それは精神的・身体的に悪影響を与えている事にはならないのでしょうか。目に見えるものではありませんが、子供を思う気持ち・愛おしいと思う気持ちがあればクリアできる事もありますし、何しろ子供自身が分かってくれるはずと信じています。



ソーシャルワーカーが関わるという事は児童虐待や育児放棄を未然に防ぐという部分ではとても良い事なのかもしれません。ですが、障害の重さ=結婚や子育ての能力がないという事ではないと思います。

「結婚や子育ての権利を取り上げるのではなく支援できる制度があればいいのになあ」と感じました。

実際、子育てしてみると、大変な事もたくさんありますし、奥さんにも迷惑をかけていますが日々成長していく子供の姿を見られる事はとても幸せです。子供のお陰で親が育っているような気がします(笑)

**札幌市リユースプラザ**〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816<http://www.reuseplaza.jp/>**～ 発寒工房の半年を振り返る ～**

発寒工房館長 ジョン ウルク

環境事業を始めてから、春の桜、猛烈な夏も通り過ぎ、もう半年が経とうとしています。やっとこの事業の全容を描くことが出来るような気がします。

この6ヵ月は工房の皆さんを含め、ライフの皆さんにも迷惑ばかり掛けてしまったと思います。初めての仕事で3ヵ月は業務把握に集中した期間もありました。また、各現場とのコミュニケーションの温度差を感じ組織を再編し、定例会議を開き、各現場との連携がやっと取れるようになりました。

秋の真ん中、寒い風がどんどん体に浸み込みます。毎月のようにイベントを開きながら平常の業務を共に並行するのはまだまだ慣れないことのひとつです。また、秋の収穫祭を10月15日、16日に行う予定です。まだ地域の広報、イベントの充実感の足りなさを感じるどころです。

この秋からは障害者を含め、健常者の仕事のバランスを取ることに取り組んでいます。工房には4人の障害者と3人の職人がいます。1日1人の職人が2人から4人の障害者の世話をしながら仕事をする日が多いです。もちろん事務のスタッフも世話に関わっていますが、全ての事には関われないことが現状です。それでしょっちゅうトラブルが起きています。

工房で働いている障害者の障害は軽いとは言え、それぞれの個性が有り、お互いに理解出来ない場合が多いようです。でも皆さんは仕事と言う中心点では、共通コミュニケーションのコードを持っているようです。これからは皆さんの仕事の向上とコミュニケーションの幅を広げたいと思います。

冬には仕事も落ち着き、新年度に向け淡々と準備をしたいと思います。

**～ 家具修理の塗装・仕上までやって ～**

発寒工房 大井 敏彦

昨年6月9日トライアル雇用で発寒工房に入社して以来、家具の洗い、パテ塗り、パテ処理まではほぼ完全に出来るようになった。

塗装はたまに教えてもらう程度だったので、初めてやるような感じだったが、全くの初めてではないのでやった所を思いながらやって見た。忘れていた所がやっぱり多かったが、初心に帰って一からやるつもりで作業に臨んでみた。

なかなかうまく行かず大変だったが、館長の指導のもと、指示に従い作業をした。でもやって行くうちに少しずつではあるが上達していったので、教えられたことを忘れないように、今後もステップアップしていきたいと思う。

いろいろ作業はすぐには出来ないのですが、経験と慣れが重要です。多少失敗しながらも良い商品になるように頑張りたい。



# リユースプラザ 文化祭

## ～ 文化祭～地場から広がれ！地域力・環境力～

札幌市リユースプラザ 松永 クニ子



「おもちゃのばくりっこ」コーナー

去る9月4日(日)台風大接近中に開催されました。心配したお天気は、4日の朝は小雨がぱらつく程度。8時30分にライブのメンバーが続々と到着し、あっという間に屋台のテントがリユースプラザの入り口側に設置されました。9時になると「おもちゃのばくりっこコーナー」の札幌消費者協会環境研究会、福祉バザーのばお、わーく・ひまわりの方々々が品物を持って入館し準備が整い開館を待つばかりとなってきました。

天気予報の大雨で中止も検討された「ごみ収集車」展示も小雨なので実施、9時30分に到着して準備万端。

前日からパネルに貼って準備した新さつぼろとま保育園の園児の可愛い絵画を前面に出して、シャッターを全開すると、親子連れが開館を待っていました。お目当ては、「ごみ収集車」の見学、「おもちゃのばくりっこ」で、早々に目的のコーナーへと移動。10時30分からの東 龍夫氏による「環境セミナー」には、リユースプラザの職員も参加しました。

11時頃になると、屋台から焼きそば、新メニューの「大阪風イカ焼き」、お向かいの(株)サンマルコ食品のイチオシ商品、揚げたて「男爵コロッケ」の美味しい香りが漂い始め、展示場の休憩コーナーで出来たてを楽しんでいました。12時30分から「厚別地区PTA連合会よさこいチーム」の演舞に合せたように、真黒な雲で覆われた空から青空がのぞき始めました。2曲目の「ソーランビート」が流れ始めるとさらに太陽が顔を出し、たくさんの拍手で演舞が終わりました。着替えたよさこいチームの子どもたちは、満面の笑みでライブの屋台の焼きそば、コロッケでお腹を満たしていました。

当日の来館者人数は、327人とまずまずの入りでした。10月15・16日には、最後の屋外イベント「リユースマルシェ 秋の収穫祭」(12p参照)が控えています。リユースプラザを会場に発寒工房、ライブ本部、ともどもネットの皆さんと一丸となってイベントを大成功に導きたいとリユースプラザ職員一同思いを一つにしています。



雨でも平気!傘をさして「ごみ収集車」を見学



## ～ 環境セミナーに参加して ～

札幌市リユースプラザ 澤田 茂則

札幌市環境保全アドバイザーの東さんの「リサイクルのその先は？」に参加させて頂いて一番印象に残ったことは、「もうリサイクルの時代ではない！これからは、もっとリユースに力を入れてゆくべきだ!」ということです。

皆さんは、「リサイクル」と「リユース」の違いが分かりますか? 「リサイクル」は、再生資源に戻して再生させること。例えば、ペットボトルを繊維に変えて作業服、フリースなどを作る。「リユース」は繰り返し使うことです。そのままの形を壊さずに使うことです。

今までは、ごみを分別して「リサイクル」に力を入れてきましたが、「リサイクル」には膨大なお金がかかります。市民の皆さんに「リサイクル」ではなく、「リユース」が大事だということを知って欲しいと思いました。



環境セミナーにHBCテレビの取材が入りました



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

♪ **共働サービス たねや**

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32

♪ テラ二十四軒1階

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

♪ taneya@npolife.net

♪ 出張販売

♪ 配送業務

♪ チラシ折り

♪ 封筒詰め作業

♪ 箱折り・シール貼り

♪ 清掃委託業務

♪ その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

☆ たねや本体より ☆

「ぼくらは反省する」

石田 程哉

新体制になってから2カ月たちますが、最近仕事になれてきたのか雑になっているような気がします。このたねやでは、出張販売・軽作業(チラシおりなど)・清掃・ポスティングなどをたくさんやっていますが、どれもちゅうとはんぱになっちゃってます。

ぼくはひだまりにいたのですが、その時よりも効率がダウンしてしまっているような気がします。よせあつめのうごうのしゅうにならないように、これから努力していきたいです。



「ぼくはあらった！」

嬉野 健人

しょうかきをあらった。かいだんそうじをした。おんがくしつもロッカーもあらった。たいいくかんもあらった。ホールをあらった。どあもいすもあらった。

じょしぶろをあらった。しょくどうのいすもあらった。まどもあらった。

じどうはんばいきをあらった。だんしぶろをあらった。てんじょうもあらった。



「モモの日々」

小黑 悠佑

新体制になってまだ間もなく、メンバーも職員動きもどことなく落ち着かない感じです。以前より琴似のたねやに来る方が半分くらい減ったので少しさみしい気もしますが、その分一人一人と深い時間を過ごせればと思います。

仕事は主に軽作業。清掃チームの人は数名で毎日行きます。仕事が無い時にどう過ごすかが課題です。時間を決めて軽作業の練習を行ったり、映画を観たり、洗車したり、物置掃除や器具の洗浄などやっていますが、すぐにネタが尽きます(笑)

今後は、皆でいろいろアイデアを出しあって考えていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

「続・今の自分の目標」

笹尾 和弘

履歴書との戦いは長かったみたいな感じです

たねやモモ

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOMO 102  
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323



が、やっと?何とか?全マスを埋める事ができそうな所までこぎつけました。あとは書いた言葉をていねいに直しながら清書すれば完成です。

「おりとおびのおしごと」

ごとう ふゆかぜ

今まではシュレッターのおしごとをしていました。今はおりとおびのおしごとをしています。たのしいけどおりがむずかしいです。これからもがんばります。



就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・ポストイング・DM発送  
・その他の軽作業

# きばりや

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533

### 新体制になって

為井 まどか

まだまだ暑さは残りますが、すっかり日が沈むのも早くなり季節の変わり目という感じですね。そんな季節も変わりゆく中、移転して2ヶ月が経とうとしている『きばりや』はというと…何かと皆で協力して仕事をこなしているように感じられます。

ただ、印刷物の制作に関しての知識がない人が過半数以上なので、少数の人に負担が掛かっているのではないかと心配になります。時間がある時に勉強をしようとは思っているものの、軽作業の方が立て込んでいて時間に追われることがほとんどです。難しいものですね。

今後は、助け合えるように制作に関する知識も学んでいかなければ!!と考えています。そのためには何事にもチャレンジすることが必要なのかなと思います。全員でフォローし合えるようになるといいですね!

### 下水道バザーに参加して

南條 恭彦

9月10日、土曜日に私は下水道バザーに参加しました。最初天気は、曇りで雨が少し降りました。まもなく日が差しきて、それからかなり晴れました。

この日私は大阪いか焼きの担当でした。お客さんがひっきりなしに大勢並んだので盛りつけに追われ、かなりのスピード感を持った作業ペースが要求されました。頑張っって何とかそれに應えることができたので、終了してみると充実感でいっぱいでした。いい経験をさせていただきました。



お好み焼き風  
大阪イカ焼き

### 今後の目標

大島 隆也

「カフェドキバリヤ」にきて、1ヶ月が経ち少しずつ慣れてきましたが、苦手なことがあります。「大型ラッシュ」という感じの、行列のできる程忙しい時があります。

現在の仕事は、「レジ打ち」、「商品のセット」、「洗い物」などです。「レジ打ち」をしている時に、大勢の人がきて「大型ラッシュ」になることがあり、たまに混乱してしまったり記入もれがあったりするので、それを少なくしていずれはミスを完全になくし、もっと効率良くこなせるようになりたいです。

### 下水道科学館バザー

星 悠

9月10日～9月11日、下水道科学館バザーがありました。一日目ぼくは、じゃがバターの仕事をしました。

つくえの上に、じゃがいもをおいて、あとでバターをいれました。お客さんがたくさんきてびっくりしました。

二日目いかやきを焼く人が少なかったです。ぼくは、さいしょはソースたんとうだったけれど、むずかしかったので、つぎはマヨネーズもやったけれど、うまくいかなかったので、わごむがかりをしました。

### Cafe de キバリヤより

読書の秋やスポーツの秋、変な秋？  
ではなく恋の秋…と秋にはいろいろありますが、やっぱり食欲の秋ですね♪

実りの秋をたっぷり食べられる期間  
限定プレートを

10/24(月)～10/30(日)

までご用意致しております!

是非お越し下さい。





**コン・ブリオ ひだまり**  
 〒063-0812 札幌市西区琴似 2 条 3 丁目 2-37  
 サンハイム 1 階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net

☆キッチン便り☆

暑い夏も終わり、いよいよ食欲と読書の秋がやってきました。

ぶどう、梨、さんま、etc.秋の味覚は豊富にあります。読書をしながら果物なんて最高ですね。

ひだまりのお弁当もちょっと秋を感じられる料理にしたいと思っております。

**お買い物情報**

月・木曜日は低農薬野菜が入荷いたします。  
**大根・いも・人参等**  
 ※その日の朝の取りたての野菜です。

☆キッチンレシピ!☆

**ポテトのミルク明太子ソース (4人分)**

材 料	A {	じゃがいも	4個	B {	明太子	大1腹
		塩、こしょう	少々		マヨネーズ	大さじ3
		牛 乳	適量		牛 乳	大さじ4
トッピング {	万能ねぎ	4本	砂 糖	小さじ1		
	ゆで卵	2個				

- ① じゃがいもは皮をむき、大きめのひとくち大に切り水にさらす。
- ② なべにじゃがいもと、ひたひたの量の牛乳(A)・塩少々加えてゆでる。
- ③ 熱いうちに塩コショウをふる。
- ④ 明太子は1ヶ所薄皮の端を切り、なかを取り出す。
- ⑤ ボウルにほぐした明太子とBの材料を入れ混ぜる。
- ⑥ 万能ねぎは小口切り、ゆで卵はくし型に切る。
- ⑦ 器にじゃがいもを熱いうちに盛り、明太子ソースをかけ、万能ねぎをちらし、ゆで卵を添えてできあがり。



..... 下水道科学館バザーに参加して .....

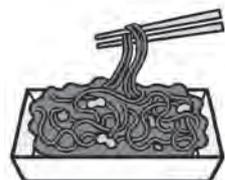
**松橋 勇祐**

僕は土曜日一日だけ働きました。やきそばとじゃがバターの補充をしました。お客さんがいっぱいだったときがたいへんでした。何とか売れました。疲れながら頑張りました。



**ひだまり新人 三谷 健一**

焼きそばパッカー一枚はがしをしました。一日目がお客さんでいっぱいでした。二日目は焼きそばにしょうがをのせました、たいへんだった。お客さんがいっぱいで大変だった。



# ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション

ゆい  
繭結



## 『2年目ヘルパーの雑感』

契約ヘルパー 田中 康寛

私は、介護の仕事を始めて2年目になる。ヘルパー2級を取得し、認知症対応型共同生活介護住宅(所謂、グループホーム)の介護職員をしたが、初めての高齢者介護に戸惑いと長時間勤務による疲労から4ヶ月で退職してしまった。その後しばらくの間、介護の仕事することが出来なかった。

しかし、福祉系大学に在籍して社会福祉について学んでいると、歴史や技術理論だけではなく、現実社会における実践の重要性を痛感したのも事実である。それは、社会福祉が人の生活・生命・人生に深く関わる領域であり、人々との関わりを直接経験してこそ、学んでいる事柄の意義や課題が自分のものとして理解できると思ったからである。

また、社会福祉の基底には、深い人間理解が何より重要だと感じるからである。この人間理解は、ある意味で哲学の領域でもある。私は以前、法哲学及び倫理学を学んだことがあるが、哲学の一分野に「正義論」というものがある。「人間社会において何が正義なのか？」を探求する学問であるのだが、社会福祉にも横断的に正義論が関係してくる。それは「正義が、人間社会の秩序を保ち、幸福追求を可能とならしめるために、実現しなければならない社会の規範」だからである。私にとってこの「正義論」は、生涯にわたる研究テーマでもある。

以上の理由から私は、実践経験を積んで人間社会を理解し、その理解を社会に役立てることが出来るよう研鑽するため、さらには訪問介護によって社会福祉の一端を担うべく、ヘルパーステーション繭結へ登録ヘルパーとして勤務することになったのである。

さて、一年を経過して最近現場で感じることは「ヘルパーの仕事に王道はあるのか？」と考えることが度々ある。この答えは、当然「王道などない」に決まっている。利用者個々で求めるものが違い、活動の内容も各々異なるからである。例えば、身体介護にしても各利用者で違うし、家事援助にしても同様である。

しかし、ヘルパーとしての諸活動を俯瞰してみると、「共通するものがある」と感じることもある。それが「王道」なのかは大いに疑問であるが、兎に角、私が利用者に接しているときに共通する心構えがある。それが「利用者に添う」ことである。

つまり、利用者の表情や声色、コミュニケーションの話題や何気ない仕草から利用者の状態を読み取り利用者が求める支援を見極めて、それに出来るだけ添う支援を実施するよう心掛ける事である。

もっとも、利用者の身勝手にヘルパーが合わせたり、我がままを受け入れる事ではない。所謂「真のニーズ」を見極めて支援することが、私にとっての課題なのである。これがなかなか難しい。この「真のニーズ」を見極めるためのヒントが「根拠のある支援」だと私は考えている。「根拠ある支援」とは、活動の一つ一つに理由付けをすることが出来る支援と換言してもいい。例えばルーチン化された活動でも漫然とこなすのではなく、その活動の意味を理解して支援することが大切であると私は実感している。そして、活動の根拠を理解しておくことにより、利用者の変化に「気付く」ことができ、その「気付き」が、支援の質の向上に資すると私は考えるのである。

こうした「気付き」をするためには、ホームヘルパーに高い知識・技術・経験が必要で、且つ、利用者の細やかな異変に気付く観察眼が欠かせない。なぜなら、いくら介護技術が高くても、利用者と正面から向き合って添うことが出来なければ、利用者を置き去りにした支援となり、単なるヘルパーの自己満足になるおそれがあるからである。

こうした考え方を教えてくれたのは、今年の夏に急逝した先輩ヘルパーである。

ヘルパーの活動に入る度に、今でも先輩から指導を受けたときの表情や声が頭の中に響いてくる。私は、今は亡き先輩ヘルパーの想いを受け継ぎながら、これからも研鑽を続けていきたいと思う。

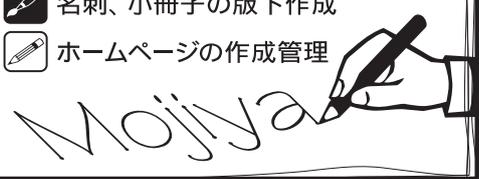




# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理



## 『地下鉄に揺られ』

岩崎 佑司

もじやの事務所が移転して、早いもので2ヵ月がたちました。今は体が慣れて平気になりましたが、引っ越しが終わり始めの週は、早起きするのがこんなにも辛いのかと思いました。正直ため息しか出なかったのが嘘のようで、今は目覚まし時計のアラームより早く起きる毎日です。

地下鉄での移動も当初は、何番乗車口から乗ったら乗り換えがスムーズなのかを考えたり、どの駅で降りたら一番近いのかも調べたりもしました。今では、スムーズに乗り換えたり出来るようになりもじやの事務所まで道に迷わず、たどり着けるようになりました(今でも朝のラッシュの人混みは苦手ですが…)。

場所も広くなったし、仕事もしやすくなって良かったと同時に、繁華街のネオンに負けないように真っ直ぐ帰るように心がけています。

## 『移転して思う事』

永島 勝章

もじやが星園高校跡地に移転して早2ヵ月になります。こちらに来て改めて思うことは、朝の通勤です。移転前の琴似の時は、大谷地から地下鉄1本でしたので、通勤ラッシュ時でも乗る時は混んでいても降りる時は、人はあまりいなく寝ている間に着いているという朝のパターンでしたが、現在は大通で乗り換えて、中島公園で降りて通っています。東西線から南北線への乗り換えは、階段を使えばホームから近いのですが、エレベーターは奥にあるので、ホームに着くといつも電車を1本見過ごします。東西線は以前から駅員さんに渡し板を頼まなくても良かったのですが、東豊線も南北線も東西線よりもホームと電車との段差が大きく、電動車椅子でも乗ることが難しいので駅員さんに頼んでいます。

仕事では移転前に比べ仕事が増えつつ、責任(ミス)も多くなってきていますが、ひとつひとつの

仕事を確実にやりとげれるようにこれからも努力しながら頑張っていこうと思っています。



## 新人紹介 NO. 02

### 『皆さん初めまして』

西田 彩

この度、共働事業所もじやスタッフとして勤務することとなり、半月が過ぎました。これまでもずっとデザイン制作に携わってききましたが、気を引き締めて、新米としてのスタートです。皆様にご指導いただきながら、共に働く経験を積み重ねていく中で、自分らしさも発揮できればと思います。

移転してまだ間もないとのことですが、旧校舎を利用した広いスペースで、様々な団体が連携する環境は、まるでひとつの「村」のようです。私も1日も早く村人の一人として認めていただけるよう、たくさんコミュニケーションをとりながら、様々な仕事に取り組みたいです。

まだまだ不慣れな部分もあるかとは思いますが、何卒宜しくお願い致します。

### 『きばりやからもじやに 配属されました』

真光 和徳

星園高校跡地にうつり2ヵ月ほどですが、新しい場所で仕事をしていきたいと思っています。

# 2012年 NPO ライフ 年賀状



担当事業所もじや TEL 011-596-6583  
FAX 011-596-6584

## オリジナル年賀状印刷受付中 !!

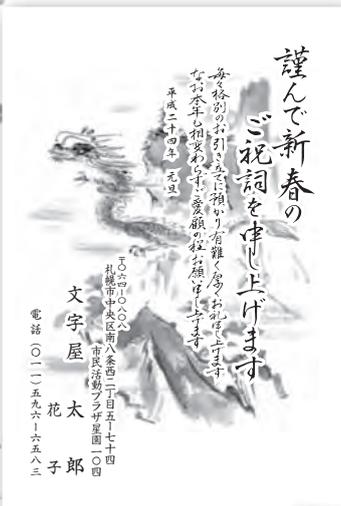
# 12月15日(木)

- 最終締め切りは、
- 出来上がりは、ご注文から2週間後位になります。

年賀状のチラシが、NPO法人ライフのホームページからご覧になれます。掲載のデザインの他にもたくさんの種類がありますので、ぜひご確認ください。

また、ホームページから申し込み用紙のプリントが出来ますのでご活用ください。ご注文は必要事項をお書きのうえ、下記のメール・電話・FAX・郵送にて受け付けております。

HPaddress : <http://npolife.net/>  
Mail : [mojiya@npolife.net](mailto:mojiya@npolife.net)





# ～今年の大地の恵み～ 秋の収穫祭

手作りケーキやパン・オーガニック製品が勢ぞろい!!

平成23年

**日時** 10月15日(土)/16日(日)  
10:00～15:00

**場所** 札幌市リユースプラザ  
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10



●地下鉄東西線新さっぽろ駅⑨番出口より徒歩8分 駐車場14台

とれたて道産野菜を  
ご提供します!

## 野菜直売市

- ジャガイモの詰め放題 (両日11時～14時～)
- エコクッキング (両日 10:45～実演)

(社)札幌消費者協会環境研究会

### 手作りお菓子・パン・エコ製品販売

出店予定

- \*しあわせなぱん屋 てんねんや (16日のみ)  
伊達市：道産小麦&天然酵母パンのお店
- \*森のケーキ屋 おおきな木 (16日のみ)  
伊達市：手作りケーキのお店
- \*きたのセンター ぱお (16日のみ)  
札幌市：手作りエコクラフト・ハチミツ 他
- \*わーく・ひまわり  
札幌市：EMぼかし・野菜
- \*ともどもネット  
札幌市：福祉事業所手作り品・復興支援市 他

**屋台コーナー** 焼きそば、たこ焼き、ポップコーン、ホットコーヒー 他

**フリーマーケット** 5店程度 (雨天時中止)

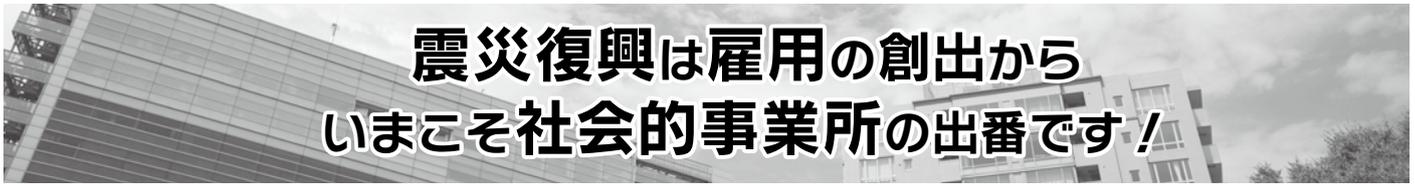
**お楽しみ企画**

ステージイベント  
【15日(土)】厚別バトンチーム、マジック  
【16日(日)】こどもよさこい、バルーンアート

エコクイズ「Qoo」がやってくる!  
などなど...

掲載内容に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

**主催** 札幌市環境局環境事業部 札幌市リユースプラザ (休館日：毎週月曜日) ※月曜日祝日の場合変更有 9/20・10/11(火) 休館  
イベントの詳細い内容は、HP でご確認下さい。 <http://www.reuseplaza.jp/> 【TEL】011-375-1133



npolifebooks

NPO ライフ  
びっぼろ人間福祉  
ブックレット

02

講座  
「障害者等の雇用を考える  
社会的事業所の役割」報告集

誰もが働ける社会を

公は制度がないと動かないし、儲からないと  
民は動かないけど、公でもない民でもない、  
この社会の我々の生き方というのを  
とりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

——— (株)ナイス代表取締役 富田 一幸

今年の1月に開催したセミナー  
「障害者等の就労を考える  
社会的事業所の役割」の  
講演記録が出来ました！

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的  
事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か？

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

---

NPO ライフブックレット No.2  
『誰もが働ける社会を』 2011年6月30日発行  
定価 1,000円(送料別) A5判 140 ページ

---



npolifebooks

さっぼろ人間福祉  
ブックレット

01

この秀ルース  
加藤 孝  
講演録

収容施設は  
もういらな  
いと思っ  
てまで

NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、  
「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使わ  
れることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制  
度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉  
法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぼ  
ろ人間福祉ブックレット』を発行する。

---

NPO ライフブックレット No.1 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらな  
いと思っ  
てまで』  
定価 840円(送料別) A5判 72ページ

---

●お申し込み

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

---

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net  
H P:http://npolife.net/



本国イタリアでは動員数40万人超、54週ロングランの大ヒットを記録し、イタリア・ゴールデングローブ賞を受賞した話題作。精神病院廃絶法であるバザリア法(1978年制定)により、精神病患者たちが一般社会で暮らせるような地域づくりに、世界で初めて挑戦したイタリア…そんな時代を背景に、ある施設の取り組みと、そこで生まれた知られざる実話を感動的に描いた人間讃歌だ。ともすれば重い話になりがちなデリケートなテーマでありながら、ユーモアあふれる語り口で描いたところが面



白い。すぐ手が出るキレやすい男、彼氏が100人いるという妄想を持つ女など、一筋縄ではいかない元患者の面々が繰り広げるドタバタぶりが笑いを誘う。

1983年、活気溢れるミラノの労働組合員ネッコ(クラウディオ・ビジオ)は正義感が強く、労働の近代化や市場に対して情熱を傾けていた。しかし労働組合のために出した本が型破りだとされ、所属していた組合から異動を命じられる。

ネッコが行き着いたのは、精神病院の患者たちを地域に戻し、一般の社会で暮らせるようにするというバザリア法によって閉鎖された病院の元患者たちによる協同組合だった。しかし彼らは病院を出て自由な社会生活を送るどころか、毎日が無気力に過ごしていた。持ち前の熱血ぶりを発揮せずにいられないネッコは彼らに、施しではなく、自ら働いてお金を稼ぐことを持ち掛ける。みんなを集めて会議を開くが、個性豊かなメンバーたちはバラバラで、会議はなかなかまとまらない。しかし何とか床貼りの仕事をする事が決まる。ネッコは彼らとともにこの無謀な挑戦を始めるが、元患者たちに自分の家の床を触らせようとする人はなかなかいない。そのうえ数少ない現場でも、組合員たちは次々に失敗する。そんなある日、仕事現場でのアクシデントをきっかけに、彼らの人生が180度変わるようなチャンスが訪れる。 (goo映画より転載)



# 待望のイタリア映画

## 「人生、ここにあり」

札幌のシアターキノで上映

2011年10月15日(土)シアターキノ(札幌) 他全国ロードショー

専務理事 石澤 利巳

待望の映画がやっと札幌のシアターキノで上映になる。

イタリア映画「人生、ここにあり」(原題: SI PUÒ FARE! やればできるさ)は、障害のある人ない人が共に生きる場をつくり上げてきた、ある障害者施設での実話を基にしたものである。

私は2年ほど前に3度この映画を観る機会に恵まれた。その都度、共に笑い、共に涙し、今なおその感動の余韻は強く残っている。生かされる人生ではなく、自ら創り出す人生を勝ち取った彼女らの格闘は、まさに「共に生きる」とは何かを、今一度考え直す機会を与えてくれた貴重な映画である。

同時に、3・11以降、多くの困難と格闘する多くの人々にも、「やればできるさ」という勇気を与えてくれるに違いない。

当該関係者だけではなく、幅広い人たちにこの映画を是非観て頂きたい。そして、日本の福祉の現状を変えていく、大きな流れを共に作り上げていきたい。誰もが「人生、ここにあり」と言える日が来る事を祈って。

## シアターキノ

札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F  
TEL/011-231-9355 FAX/011-231-9356

毎月1日	【ファーストサービスデー】	1,000円
月曜	【カップルサービスデー】(お二人連れのお客様) ※チケット購入はお二人おそろいでお願いします	お二人で 2,000円
水曜	【会員デー】(KINO会員の方)	スタンプ2倍
木曜	【レディースデー】(女性の方のみ) ※チケット購入はご本人様に限ります	1,000円
日曜	【日曜レイト割引】 (毎週日曜日18時以降の上映)	1,000円



私のオススメ

## 東 直己 著 「バーにかかってきた電話」

ライフ理事 我妻 武

この作品の初版は93年だが、最近映画になったので再び脚光を浴びている。この探偵シリーズは現在まで11巻出ている。

私は本来ブームに乗っかって本を読んだりもしない。しかし、気になる本は時期を少しずらしてから読むことにしているひねくれ者だ。今回はブームに乗っかって紹介するのではないことを冒頭にお断りしたい。

私と作者の東さんとは、もう30年くらいの付き合いになるだろうか。非常に面白い方で、何度かススキノも案内していただいた。当時はススキノで色々なアルバイトをしていたのだが、その体験が小説にも生きているのだろう。小説に登場する人物は特別な人ではなく、どこかに居そうな人が登場する。それは東さんの体験からなのだろう。

事件は、ススキノのバーにかかってきた一本の電話から始まる。相手は女性で何やら謎めいているところから事件が始まる…というもの。

内容を紹介したいが、詳しく紹介すると本や映画が面白くなるから、是非とも本を読んでから映画を見るか、映画を見てから本を読んでほしい。

きっと探偵の虜になるはず。そしてススキノで飲みたくなるはず。



発行：ハヤカワ文庫  
定価：798円

### 編集後記

長年住み慣れた地域からの引っ越しをしたのですが、いまだに荷物の片づけを行っています。ほとんどが私の関連する書類、本や資料なのですが、何でこんなものを取っておいたのだろうとか、懐かしい資料だと読みふけてしまい、なかなか片づけが進みません。年末までには何とか整理をしたいと思うのですが、どうなることやら。

同じく私の仲間が札幌から東京へ引っ越しをしますが、引っ越し先でアパートを探したところ、車イスということで、何件かの不動産屋から断られたとのこと。障害者を取り巻く条例や法律ができてきているのに相変わらずの現状に溜め息と怒りがこみ上げてきます。(タケ)

## お知らせ

来る11月3日・5日に福祉的就労から共働事業所へ、そして社会的事業所への転機を促進することを目的とした、障害者等の就労を考えるセミナー(第2弾)が、札幌市と釧路市で開催されます。参加ご希望の方は各実行委員会にお問い合わせください。

### 障害者等の就労を考えるセミナー 第2弾

#### ●釧路セミナー

日時：11月3日(木) 9時30分受付～16時15分

場所：釧路市交流プラザさいわい 多目的ホール  
釧路市幸町9丁目1番地

講師：花田昌宣さん(熊本学園大学社会福祉学部教授)

齋藤縣三さん(名古屋NPO法人わっぱの会代表 NPO法人共同連事務局長)

白杉滋朗さん(滋賀県なつこ共働作業所事業代表 全日本育成会運営委員)

石澤利巳さん(NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ事業本部長)

お問い合わせ：企業組合ウェルフェアグループ  
0154-37-7916

#### ●札幌セミナー

日時：11月5日(土) 9時30分受付～15時50分

場所：札幌市教育文化会館305号室  
札幌市中央区北1条西13丁目

講師：花田昌宣さん(熊本学園大学社会福祉学部教授)

齋藤縣三さん(名古屋NPO法人わっぱの会代表 NPO法人共同連事務局長)

新居 良さん(大阪府箕面市 豊能障害者労働センター)

★特別報告 東日本大震災による障害者状況について  
報告者：飯島 茂さん(宮城県仙台市 コッペ事業所代表)

お問い合わせ：NPOライフ事務局  
011-633-6666

主催：実行委員会(複数事業所連携事業)

### ご協力ありがとうございます

アドボケ購読料

賛同会費

寄付金

山内 徹 様

野村 裕司様

織本 義昭様

佐藤 典子様

近藤 邦雄様

ありがとうございます

### アドボケイト 長月号(第130号)

2011年9月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第474号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ  
事務局長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円